

活動プログラム展開案②<高等学校>
「トラブルにならないような話し方を学ぼう」

◆本時のねらい

- ・トラブルにならないような話し方について考え、練習することができる。

◆授業前の取り扱い

- ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、生徒の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。
- ・本時の内容について配慮を要する生徒がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせる。

◆展開(本時で使用する【スライド1】～【スライド16】は、展開案の後に示しています。)

学習活動	教師の発言(○) 予想される生徒の発言(・)	指導上の留意点
1. 前時の学習について振り返る。 【5分】	<p>【スライド1】(授業前オープニングスライド)</p> <p>【スライド2】 ○前回の授業では、「トラブルが起きるときにどのような感情を抱くか」ということで、怒りの感じ方や怒りの仕組み、怒りのコントロールの仕方について学習しました。怒りのコントロールの仕方には、「深呼吸」「カウントアップ」「自分への声掛け」「リフレーミング」がありました。</p> <p>【スライド3】 ○「リフレーミング」とは、出来事に対する見方や考え方を变えることでした。例えば、「あなたが友達に『おはよう』と声を掛けたのに、友達が黙って行ってしまったこと」を「無視された」と決め付ける前に、「友達は気付かなかっただけかな」と一呼吸置いて考えてみます。</p> <p>○同じ出来事でも、捉え方を変えてみることで、気持ちに余裕が生まれ、怒りの感情を高めることなく行動することができます。「リフレーミング」は、きっかけとなる出来事があったとき、早い段階で使える適切な怒りのコントロール法です。</p>	
2. 本時のめあてを知る。 【3分】	<p>【スライド4】 ○これは、佐賀県の高校生を対象に実施した「友達との間で起きたトラブルについての調査結果」の上位5つです。</p> <p>○これらのトラブルの場面では、互いに自分の気持ちや考えを言い合って怒りを感じたり、逆に自分の気持ちや考えを言うことができずに困ったり不満を感じたりしていることが分かります。皆さんも同じような場面を経験したことがあると思います。</p> <p>【スライド5】 ○怒りの感情が起きないようにするためには、相手を尊重しながら自分の気持ちを伝えることが大切です。また、そのときの話し方や聴き方で相手の感情は変わるものです。</p>	・スライドで示した上位5つのトラブルの場面を読み上げる。

○今日は、トラブルにならないような話し方について学習します。

【本時のめあて】 トラブルにならないような話し方を学ぼう

3. トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をすればよいかを考える。

【スライド6】

- トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をしたらよいかについて考えましょう。
- ワークシートのトラブルになりそうな場面①を見てください。

・ワークシートを配付する。

【トラブルになりそうな場面①】
 友達のAさんに頼まれて、Bさんは漫画本を貸しました。Aさんは忘れてしまったのか、いつまで経っても返してくれません。
 そして、ある日、AさんはBさんに、また別の漫画本を貸してほしいと言ってきました。

(1) モデリングの動画を見る。
【10分】

【スライド7】

- この場面①でのBさんの話し方の動画を3つ見ます。Bさんの話し方に着目して、何番目の話し方が良かったかを考えながら見てください。

・モデリングの動画を使用せずに、教師や生徒でモデリングを行ってもよい。その場合は、事前に打合せや練習を行っておく。

動画シナリオ1 攻撃的な話し方（強い口調で）
 A：ねえ、Bさん。
 B：なに？
 A：あの漫画本の最新刊買ったんだって？
 B：買ったよ。
 A：面白かった？ねえ、貸してよ。
 B：ちょっとAさんさあ、前に貸した漫画本も返してないじゃない！早く返してよ！
 A：あっ、忘れてた。今度持ってくるから。
 B：もう！あんたなんかに、もう何も貸さないから！

動画シナリオ2 非主張的な話し方（下を向いて、小声で）
 A：ねえ、Bさん。
 B：なに？
 A：あの漫画本の最新刊買ったんだって？
 B：うん。
 A：面白かった？ねえ、貸してよ。
 B：えっ、でも…。前の本…。
 A：もう読んだんでしょ、いいじゃない。貸してよ、ね、明日持ってきて。
 B：う、うん。

動画シナリオ3 自分も相手も大切にする話し方（ていねいに、はっきりとした口調で）
 A：ねえ、Bさん。
 B：なに？
 A：あの漫画本の最新刊買ったんだって？
 B：うん。買ったよ。

A：面白かった？ねえ、貸してよ。
 B：それより、前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？
 A：あっ、ごめん。忘れてた。まだ、返してなかったんだ。
 B：あの漫画本、私、もう一回読み直したいんだけど。明日持ってきてくれる？
 A：あ～、まだちょっと読み終わってないから、もうちょっといいかな。
 B：うん、いいけど。じゃあ、前のを返してくれたら、新しいのを貸すって言うのはどう？
 A：うん。分かった。

(2) 話し方のポイントを考える。
 【7分】

【スライド8】

- どうでしたか。Bさんの3つの話し方の中で、何番目の話し方が良かったと思いますか。
 - ・ 3番目
- それでは、3番目の話し方のどのようなところが良かったと思いますか。
 - ・ Aさんに落ち着いて自分の気持ちを伝えていた。
 - ・ Aさんの言いなりにならず、柔らかく自分の主張を通していた。
- Bさんの3番目の話し方は、自分も相手も大切にしながら、自分の気持ちや考えを伝える話し方になっていましたね。

・ 生徒の発言を板書する。

【スライド9】

- スライドを見てください。このスライドは、AさんとBさんの3番目の話し方のシナリオです。Bさんの台詞の中で、下線①～④を引いたところに、話し方のポイントがあります。Bさんの台詞を順番に確認しながら、話し方のポイントを押さえていきましょう。

【スライド10】

- 最初に①です。「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」と、Aさんに事実を確認していますね。
- 次に②です。「もう一回読み直したい」と、自分の気持ちを伝えていますね。
- そして③です。「明日持ってきてくれる？」と、相手にどうしてほしいのかを提案していますね。
- 最後に④です。「前のを返してくれたら、新しいのを貸すのはどう？」と、別の提案をしていますね。
- 話し方のポイントをワークシートの1の①～④に書きましょう。

・ スライドのアニメーションと動きを合わせて説明する。
 ・ ①～④の台詞の語尾（「よね？」「したい」「くれる？」「どう？」）を強調して、話型に注目させる。

【話し方のポイント】

4. 話し方のポイント
を使って練習をする。
【15分】

- ① 事実を確認する
- ② 自分の気持ちを伝える
- ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する
- ④ 別の提案をする

○ワークシートに書いた話し方のポイントを声に出して一緒に読みましょう。

【スライド11】

○次に、この話し方のポイントを使って、話し方の練習をします。ワークシートのトラブルになりそうな場面②を見てください。

<練習>

・アンケートの結果を基に、トラブルになりそうな場面を設定する。

【トラブルになりそうな場面②】

掃除の時間、教室掃除担当のAさんは、いつも楽なほうきの仕事ばかりをしたがるため、同じ班のBさんに黒板拭きばかりが回ってきて、Bさんは嫌な思いをしています。今から、Bさんは、Aさんに掃除の仕事を交代してほしいと言いに行きます。

○Bさんは、Aさんにどのような言い方をすればよいでしょうか。Bさんの台詞を考えて、ワークシートの2の(1)の①～④に書きましょう。

○自分の考えた台詞を発表しましょう。先生がAさん役をします。会話形式で、Bさんの台詞を言ってください。

【スライド12】

○台詞を考えることができなかった人は、スライドの台詞の例をワークシートに記入してください。

【スライド13】

○今から2人組で練習します。

○練習をするときの約束を確認します。互いが気持ち良く練習するための約束は、恥ずかしがらないこと、冷やかさないこと、良いところを見付ける、の3つです。

- ・ 恥ずかしがらない
- ・ 冷やかさない
- ・ 良いところを見付ける

○実際に行動できるようになるためには、自分が恥ずかしがらずに練習することと、他の人が練習しているのを冷やかさないこと、相手のできていないところではなく良いところを見付けることが大切です。約束を守ってしっかり練習しましょう。

【スライド14】

・ 指名して数名に発表させ、良かった点を述べる。

	<p>○2人組でAさんとBさんの役を交代しながら練習します。台詞を自分で考えることができなかった人は、ワークシートに写した台詞を使って練習しましょう。</p> <p>○Aさん役の人、Bさん役の話し方に話し方のポイントが入っていたら、ワークシートの2の(2)に○印を付けてチェックをしましょう。また、ポイント以外にも表情や口調など、良かったところを書きましょう。</p> <p>○役割を確認します。Aさん役の人、手を挙げてください。Bさん役の人、手を挙げてください。</p> <p><練習1回目> ○始めてください。</p> <p>○終わりましたか。Aさん役の人、Bさん役の人のワークシートに記入してください。</p> <p><練習2回目> ○役を交代します。始めてください。</p> <p>○終わりましたか。Aさん役の人、Bさん役の人のワークシートに記入してください。</p> <p>○話し方のポイント以外の良いところを見つけた人は発表してください。 ・相手を見て話をしていた ・相手の立場に立って、優しく話をしていた</p> <p>○これらのこともコミュニケーションのポイントとして、トラブルにならないためには大切なことです。</p>	<p>・表情や口調なども、話し方のポイントとして着目させる。</p>
<p>5. 聴き方の基本的なポイントを知る。 【2分】</p>	<p>【スライド15】</p> <p>○トラブルにならないようにするためには、今学習した話し方だけでなく聴き方も大切です。</p> <p>○トラブルにならないような聴き方には、次のようなポイントがあります。ワークシートの3に書きましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【聴き方のポイント】</p> <p>① 相手を見て、うなずきながら聴く</p> <p>② 最後まで聴く</p> <p>③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く</p> </div>	<p>・生徒の発言を板書する。</p> <p>・簡潔に説明し、ワークシートに記入させる。</p>
<p>6. 本時の学習を振り返る。 【8分】</p>	<p>【スライド16】</p> <p>○今日の学習を振り返ります。振り返りシートに記入しましょう。</p>	<p>・振り返りシートを配付する。</p>

	<p>○今日の学習の気付きや感想で書いたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルにならないような話し方のポイントを使って会話をすれば、互いに嫌な思いをせずに話し合っていることが分かった。 ・自分の気持ちを相手にいきなりぶつけるのではなく、まず事実を確認してから気持ちを伝えるとよいことが分かった。 ・友達だけでなく、先輩後輩や先生、親など、立場や年齢が異なる人と話すときにも役に立つ話し方だと思った。 <p>○今日学習した話し方や聴き方のポイントを使って、トラブルにならないような、自分も相手も大切にしたコミュニケーションができるとよいですね。</p> <p>○次の時間は、トラブルが起きたときに、間に入って声を掛けるトラブル解決のスキルについて学習します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入したことを発表させる。 ・机間指導をしながら、生徒が書いている内容を確認して、発表する生徒がいない場合は、それを紹介してもよい。 ・振り返りシートを記入する時間が不足した場合は、数名の生徒に気付きや感想を発表させ、簡単なシェアリングと授業のまとめを行う。その後、帰りのHRで振り返りシートを記入させる。 ・生徒が記入した内容は、後日、SHRやLHR、学級通信などで紹介してもよい。 <p>・次時の学習について知らせる。</p>
--	--	---

◆評価の視点

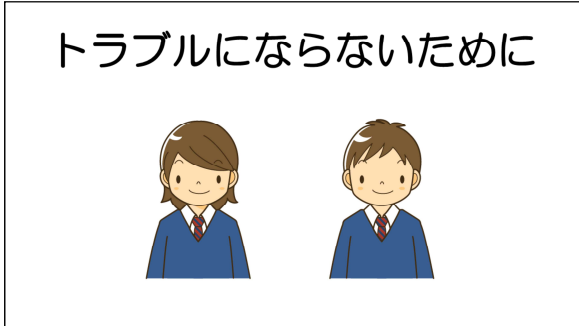
- ・トラブルにならないような話し方について考え、練習することができたか。

◆授業後の取り扱い

- ・生徒の感想をSHRやLHR、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における生徒の様子を観察する。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】

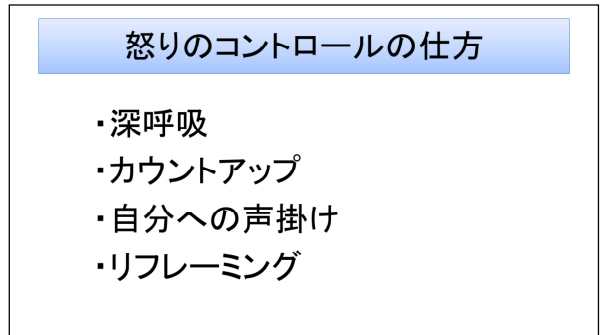


【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(授業前オープニングスライド)

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド2】



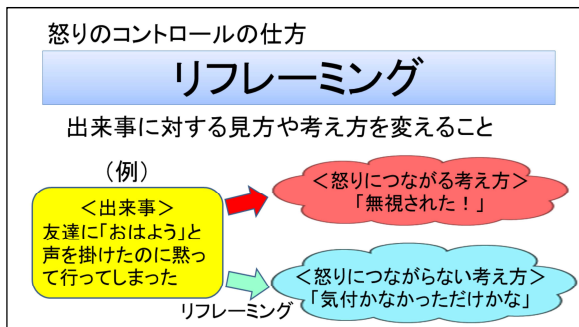
【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前回の授業では、「トラブルが起きるときにどのような感情を抱くか」ということで、怒りの感じ方や怒りの仕組み、怒りのコントロールの仕方について学習しました。

怒りのコントロールの仕方には、「深呼吸」「カウントアップ」「自分への声掛け」「リフレーミング」がありました。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド3】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

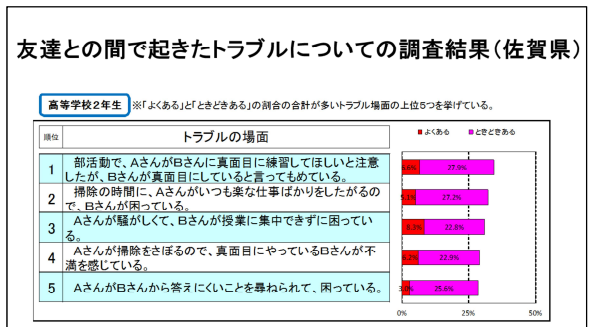
(●印のとき、アニメーションを動かす)

- 「リフレーミング」とは、出来事に対する見方や考え方を变えることでした。
- 例えば、「あなたが友達に『おはよう』と声をかけたのに友達が黙って行ってしまったこと」を
- 「無視された」と決め付ける前に、
- 「友達は気付かなかっただけかな」と、一呼吸置いて考えてみます。

同じ出来事でも、捉え方を変えてみることで、気持ちに余裕が生まれ、怒りの感情を高めることなく行動することができます。「リフレーミング」は、きっかけとなる出来事があったとき、早い段階で使える適切な怒りのコントロール法です。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド4】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

これは、佐賀県の高校生を対象に実施した「友達との間で起きたトラブルについての調査結果」の上位5つです。

- 5位は、「AさんがBさんから答えにくいことを…(※読み上げる)」でした。
4位は、「Aさんが掃除をさぼるので、真面目にやっている…(※読み上げる)」でした。
3位は、「Aさんが騒がしくて、Bさんが授業に…(※読み上げる)」でした。
2位は、「掃除の時間に、Aさんがいつも楽な仕事…(※読み上げる)」でした。
1位は、「部活動で、AさんがBさんに真面目に…(※読み上げる)」でした。

これらのトラブルの場面では、互いに自分の気持ちや考えを言い合っただけで怒りを感じたり、逆に自分の気持ちや考えを言うことができずに困ったり不満を感じたりしていることが分かります。皆さんも同じような場面を経験したことがあると思います。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド5】



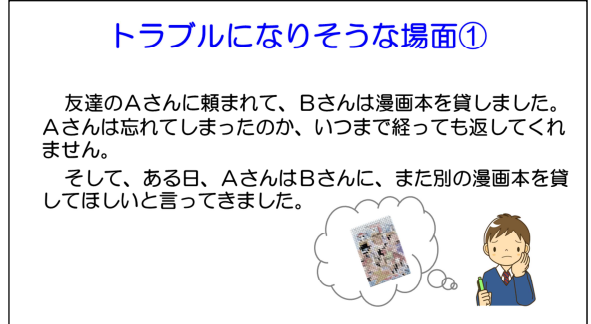
【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

怒りの感情が起きないようにするためには、相手を尊重しながら自分の気持ちを伝えることが大切です。また、そのときの話し方や聞き方で相手の感情は変わるものです。

今日は、トラブルにならないような話し方について学習します。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド6】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をしたらよいかについて考えましょう。

ワークシートのトラブルになりそうな場面①を見てください。

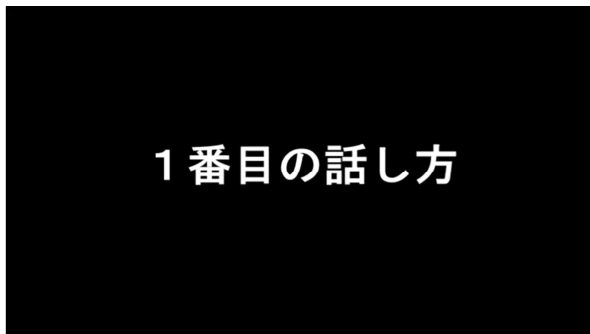
【トラブルになりそうな場面①】

友達のAさんに頼まれて、Bさんは漫画本を貸しました。Aさんは忘れてしまったのか、いつまで経っても返してくれません。

そして、ある日、AさんはBさんに、また別の漫画本を貸してほしいと言ってきました。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド7】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

この場面①でのBさんの話し方の動画を3つ見ます。Bさんの話し方に着目して、何番目の話し方が良かったかを考えながら見てください。

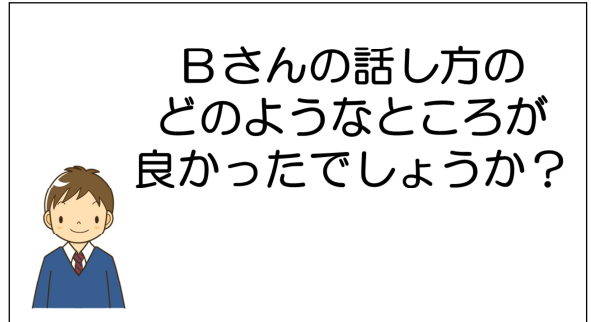
【動画シナリオ1】

【動画シナリオ2】

【動画シナリオ3】

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド8】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

どうでしたか。Bさんの3つの話し方の中で、何番目の話し方が良かったと思いますか。

・3番目

それでは、3番目の話し方のどのようところが良かったと思いますか。

・Aさんに落ち着いて自分の気持ちを伝えていた。

・Aさんの言いなりにならず、柔らかに自分の主張を通していた。

Bさんの3番目の話し方は、自分も相手も大切にしながら、自分の気持ちや考えを伝える話し方になっていましたね。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド9】

【3番目の話し方のシナリオ】

A：ねえ。
 B：なに？
 A：あの漫画の最新刊、買ったんだって？
 B：うん。買ったよ。
 A：面白かった？ねえ、貸してよ。
 B：①それより、前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？
 A：あつ、ごめん。忘れてた。まだ返してなかったんだ。
 B：②あの漫画本、私、もう1回読み直したいんだけど。
 ③明日持ってきてくれる？
 A：あ～、まだちょっと読み終わってないから、もうちょっといいかな。
 B：うん。いいけど。④じゃあ、前のを返してくれたら、新しいのを貸すっていうのはどう？
 A：うん。分かった。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

スライドを見てください。
 このスライドは、AさんとBさんの3番目の話し方のシナリオです。
 Bさんの台詞の中で、下線①～④を引いたところに、話し方のポイントがあります。
 Bさんの台詞を順番に確認しながら、話し方のポイントを押さえていきましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド10】

【話し方のポイント】

- | | | |
|---------------------------------|---|---------------------|
| ① 「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」 | ➡ | ① 事実を確認する |
| ② 「もう1回読み直したいんだけど」 | ➡ | ② 自分の気持ちを伝える |
| ③ 「明日持ってきてくれる？」 | ➡ | ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する |
| ④ 「前のを返してくれたら、新しいのを貸すっていうのはどう？」 | ➡ | ④ 別の提案をする |

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

最初に①です。「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」と、●Aさんに事実を確認していますね。
 次に②です。「もう一回読み直したい」と、●自分の気持ちを伝えていきますね。
 そして③です。「明日持ってきてくれる？」と、●相手にどうしてほしいのかを提案していますね。
 最後に④です。「前のを返してくれたら、新しいのを貸すのはどう？」と、●別の提案をしていますね。

話し方のポイントをワークシートの1の①～④に書きましょう。

【話し方のポイント】
 ① 事実を確認する
 ② 自分の気持ちを伝える
 ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する
 ④ 別の提案をする

ワークシートに書いた話し方のポイントを声に出して一緒に読みましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド11】

トラブルになりそうな場面②

掃除の時間、教室掃除担当のAさんは、いつも楽なほうきの仕事ばかりをしたがるため、同じ班のBさんに黒板拭きばかりが回ってきて、Bさんは嫌な思いをしています。
 今から、Bさんは、Aさんに掃除の仕事を交代してほしいと言に行きます。

Bさんは、Aさんにどのような言い方をすればよいでしょうか？
 Bさんの台詞を考えて、ワークシートに記入しましょう。



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

次に、この話し方のポイントを使って、話し方の練習をします。
 ワークシートのトラブルになりそうな場面②を見てください。

【トラブルになりそうな場面②】

掃除の時間、教室掃除担当のAさんは、いつも楽なほうきの仕事ばかりをしたがるため、同じ班のBさんに黒板拭きばかりが回ってきて、Bさんは嫌な思いをしています。
 今から、Bさんは、Aさんに掃除の仕事を交代してほしいと言に行きます。

Bさんは、Aさんにどのような言い方をすればよいでしょうか？
 Bさんの台詞を考えて、ワークシートの2の(1)の①～④に書きましょう。

自分の考えた台詞を発表しましょう。先生がAさん役をします。
 会話形式で、Bさんの台詞を言ってください。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド12】

Bさんの台詞 【例】

B：ねえ、(① 昨日もおととも、ほうきだった)よね？
 A：あ、うん。
 B：(② 私もほうきを)したいな。
 (③ 今日から、黒板拭きと代わって)くれる？
 A：えー、今日から？
 B：(④ もし、今日からが無理だったら、来週から)はどう？

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

台詞を考えることができなかった人は、スライドの台詞の例をワークシートに記入してください。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド13】

【練習するときの約束】

- 恥ずかしがらない
- 冷やかさない
- 良いところを見付ける



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今から2人組で練習します。

練習をするときの約束を確認します。
互いが気持ち良く練習するための約束は、恥ずかしがらないこと、冷やかさないこと、良いところを見付ける、の3つです。

実際に行動できるようになるためには、自分が恥ずかしがらずに練習することと、他の人が練習しているのを冷やかさないこと、相手のできていないところではなく良いところを見付けることが大切です。約束を守ってしっかり練習しましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド14】



役割分担

Aさん役

Bさん役

- 【話し方のポイント】が入っていたら、ワークシートの2の(2)に○印を付ける。
- ポイント以外の良かったところ（表情や口調など）を書く。

→ 1回目の練習が終わったら、役割を交代します。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

2人組でAさんとBさんの役を交代しながら練習します。
台詞を自分で考えることができなかった人は、ワークシートに写した台詞を使って練習しましょう。

Aさん役の方は、Bさん役の方の話し方に話し方のポイントが入っていたら、ワークシートの2の(2)に○印を付けてチェックをしましょう。またポイント以外にも表情や口調など、良かったところを書きましよう。

役割を確認します。Aさん役の方、手を挙げてください。Bさん役の方、手を挙げてください。

<練習1回目>

始めてください。

終わりましたか。Aさん役の方は、Bさん役の方のワークシートに記入してください。

<練習2回目>

役を交代します。始めてください。

終わりましたか。Aさん役の方は、Bさん役の方のワークシートに記入してください。

話し方のポイント以外の良いところを見つけた方は発表してください。

・相手を見て話をしていた

・相手の立場に立って、優しく話をしていた

これらのこともコミュニケーションのポイントとして、トラブルにならないためには大切なことですね。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド15】

【聴き方のポイント】

- ① 相手を見て、うなずきながら聴く
- ② 最後まで聴く
- ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブルにならないようにするためには、今学習した話し方だけでなく聴き方も大切です。

トラブルにならないような聴き方には、次のようなポイントがあります。
ワークシートの3に書きましよう。

【聴き方のポイント】

- ① 相手を見て、うなずきながら聴く
- ② 最後まで聴く
- ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド16】

今日の学習を振り返りましよう



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習を振り返ります。振り返りシートに記入ましよう。

今日の学習の気付きや感想で書いたことを発表ましよう。

- ・トラブルにならないような話し方のポイントを使って会話をすれば、互いに嫌な思いをせずに話し合っていることが分かった。
- ・自分の気持ちを相手にいきなりぶつけるのではなく、まず事実を確認してから気持ちを伝えるとよいことが分かった。
- ・友達だけでなく、先輩後輩や先生、親など、立場や年齢が異なる人と話すときにも役に立つ話し方だと思った。

今日学習した話し方や聴き方のポイントを使って、トラブルにならないような、自分も相手も大切にしたいコミュニケーションができるとよいですね。

次の時間は、トラブルが起きたときに、間に入って声を掛けるトラブル解決のスキルについて学習ましよう。